

研究課題名：

外国人技能実習生の結核に対する北海道内保健所の対応力向上に向けて

研究の目的と方法：

北海道における結核報告数は年々減少していますが、外国出生者の占める割合は増加傾向にあり、特に外国人技能実習生は全体の約1割を超えているのが現状です。そのため、外国人技能実習生の結核患者を発端として感染が拡大しないような対策が必要です。結核対策における行政の役割について、保健所は結核対策において中心的な役割を担っており、都道府県等はその業務の重点化や効率化を行うべきであるとされています。

本研究では、北海道内保健所の担当者にインタビューを行い、外国人技能実習生の結核対応での課題や取り組みを明らかにすることを目指します。そして、課題解決につながるような取り組みを北海道内保健所に普及することを目指します。

本研究の成果は北海道における結核の感染拡大防止につながると期待されます。得られた研究の成果を報告書、学術雑誌、学会などへの発表に使用する場合がありますが、お名前や生年月日など個人が特定できるような情報が公開されることは一切ありません。また、対象となる方への不利益や介入もありません。

北海道に住む皆様の安全・安心に寄与できるよう、私ども北海道立衛生研究所が主体となって感染症対策に取り組んでまいりますので、何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

研究の対象者及び対象期間：

令和9年3月31日の研究終了以前に、北海道内保健所で対応した外国人技能実習生の結核患者を対象とします。

研究に利用する試料・情報：

感染症法に基づく発生届の届出情報と、保健所が調査や患者面接、服薬支援などで得た情報を利用します。なお、情報は個人の特定につながらない形で利用します。

研究機関：

北海道立衛生研究所

試料・情報の管理について責任を有する者：

感染症疫学部サーベイランスグループ 研究職員 川代愛梨

利益相反について：

本研究に関連し、開示すべき利益相反状態にある企業等はありません。

お問い合わせ先：

北海道立衛生研究所

感染症疫学部サーベイランスグループ

川代 愛梨

〒060-0819 北海道札幌市北区北 19 条西 12 丁目

TEL：011-747-2707 FAX：011-736-9476